

ポスター発表  
(ベストポスター賞最終候補者演題)

インタビュー: 11月17日(水)17:30~18:30  
ポスター発表: 11月18日(木)17:30~18:30

セッション名	会場	研究領域	演題番号	筆頭演者	演題名
ベストポスター賞ファイナリスト発表 1	F会場	基礎研究	BP-01	Kohlsabel SY	モジュール化組織とマイクロ流体の統合による次世代Organ-on-a-Chipプラットフォームの開発
			BP-02	池山 佑豪	アセトアミノフェン肝障害発症における骨髄由来細胞でのミトコンドリア透過性遷移の関与
			BP-03	赤下 学	抗精神病薬の標的となる受容体のin vivo脳内受容体占有率同時測定法の開発
			BP-04	鮎井 悠汰	セロトニン動態変動に起因した薬物性消化器毒性発現メカニズムの定量的解析
			BP-05	青木 重樹	HLA-B*57:01遺伝子導入マウスを用いた免疫抑制因子の排除によるアパカビル依存的特異体質毒性の再現
			BP-06	保坂 卓臣	転写因子TFE3を介したヒト肝細胞におけるCYP3A4の転写調節
			BP-07	佐孝 大樹	3次元培養におけるヒトIPS細胞由来脳毛細血管内皮細胞のLAT1の輸送機能
			BP-08	松村 将成	ヒト凍結肝細胞の毛細胆管形成に着目した培養法の最適化
			BP-09	高 玉瑩	HLA-B*57:01遺伝子導入マウスを用いた免疫制御によるフルクロキサシン誘発性肝障害の再現に向けた検討
ベストポスター賞ファイナリスト発表 2	G会場	応用研究	BP-10	戸上 隼平	抗線維化薬ニンテダニブのシクロデキストリン包接体化による肺内滞留性および肺線維症治療効果の改善
			BP-11	竹村 晃典	肝細胞機能向上を可能とする高酸素透過性・低吸着性を有する新素材培養プレートを用いたin vitro肝毒性検出ツールとしての有用性評価
			BP-12	濱田 和真	NAFLDにおける薬物性肝障害感受性の規定因子としての肝ミトコンドリア
		企業研究	BP-13	荒木 光	自己誘導モデルを導入した母集団薬物動態・薬力学解析の投与量最適化における有用性評価
			BP-14	森口 博行	肝臓の生体模倣システムにおける細胞障害性の長期非侵襲的評価
			BP-15	伊藤 涼	ヒト不死化細胞血液脳関門共培養モデルの開発とその薬物脳移行性予測への応用性検証
			BP-16	横山 幹	CYP3A4の時間依存的阻害および誘導を併せ持つ薬物のヒト肝キメラマウス(PXBマウス)を用いた薬物間相互作用評価
			BP-17	坂井 理恵子	PALSAR法を用いた核酸医薬品の蛋白結合試験系の確立
			BP-18	美馬 伸治	ヒトIPS細胞由来腸管上皮細胞の特性と薬物吸収評価モデルへの応用
BP-19	中山 美有	細胞治療製品の体内分布評価を目的としたマトリクス効果を回避可能な高精度かつ高汎用型digital PCR定量法の構築			